

西口広場機能について

1. 前回の意見及びこれまでの委員会意見を踏まえた、西口広場の検討に向けた考え方の整理

- 西口広場の検討において、立体駐車場は令和4年度で検討内容がある程度固まっていることから、平面駐車場に対する意見を頂きたいと考えております。

第12回推進委員会での主な意見

平面駐車場の場合、堆雪スペースを確保するため、駐車場の稼働率が下がることが懸念される。

除雪を行う人手不足の問題もある。

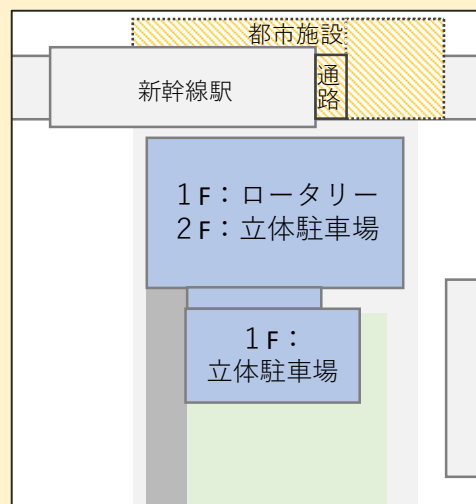
立体駐車場の整備費を補完するために、収益を確保する方法を考える必要がある。

利便性や除雪対策の面から、立体駐車場が望ましい。

立体駐車場の場合、駅利用者が俱知安の雪景色を見られるのはロータリーを出てからとなる。立体駐車場の中をどうみせるか。

R4年度委員会での主な意見

- 駐車場は、平面駐車場よりも立体駐車場の方が良い。
- 利用しやすいよう駅に近接した場所に整備したほうが良い。
- 立体駐車場の配置イメージは以下の通り。
- 立体駐車場の意匠は、無機質なコンクリートの建物とならないような工夫が必要。



立体駐車場の整備イメージ

西口広場における平面駐車場の検討

【平面駐車場案をベースとして考えた場合】
除雪が課題となるため、それを回避する方法はないか？

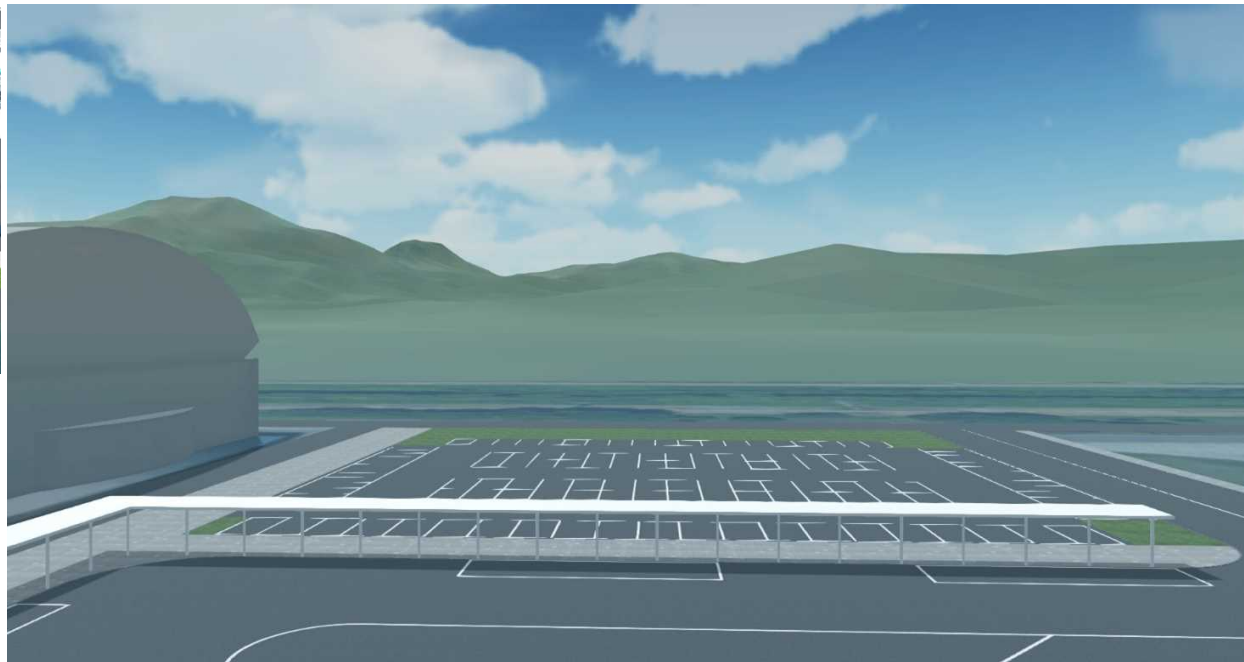
検討ケース①：平面駐車場（昨年度の検討ver）

検討ケース②：ロータリー上に屋根を整備

検討ケース③：平面駐車場の一部に屋根を整備

検討ケース④：融雪機能の整備

参考資料：新幹線ホームから西口駅前広場及び旭ヶ丘公園を望む景観



平面駐車場の場合

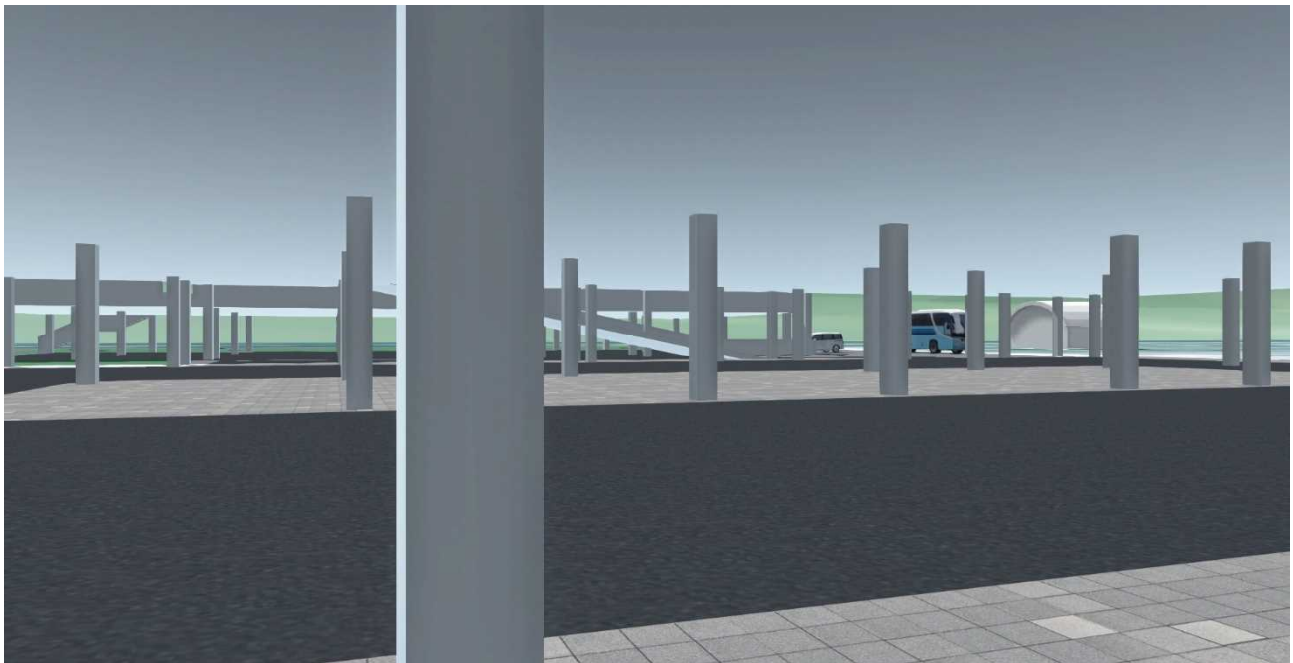
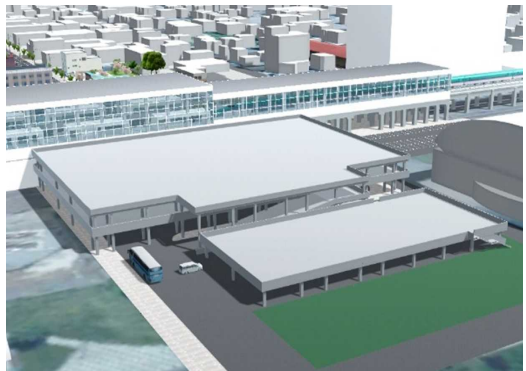


立体駐車場の場合

参考資料：西口駅前広場から旭ヶ丘公園を望む景観



平面駐車場の場合



立体駐車場の場合